

## オキサリプラチンによる肝類洞閉塞症候群の臨床病理学的特徴に関する検討

### ◆研究の目的と概要◆

オキサリプラチンは胃がんや大腸がん、膵がんなどで使用される抗がん剤の一種ですが、まれに肝類洞閉塞症候群とよばれる副作用をきたすことがあります。現時点では、どのような患者さんが肝類洞閉塞症候群を起こしやすいのか、また発症初期段階での肝類洞閉塞症候群の特徴は明らかになっておらず、しばしば診断が遅れることがあります。

当院では、これまでにオキサリプラチンを使用された患者さんについて肝類洞閉塞症候群の発現の有無を調べ、また他の治療経過や検査データと対比することによって肝類洞閉塞症候群の臨床的特徴を明らかにすることを目指し、今後のよりよい診療を行うことを目的としています。

### ◆対象となる患者さん◆

2007年5月から2019年2月までの間に、オキサリプラチンを投与され、かつその後肝臓の手術もしくは経皮的肝生検を実施された方。ただし、オキサリプラチン投与開始時点で20歳以上の方に限ります。

### ◆研究に使用される情報・試料◆

年齢、性別、身長・体重、治療を行った診療科やがんの部位、これまでの治療経過、各種検査（血液検査、肝組織検査、腹部エコー・CT・MRI検査）の結果

### ◆研究方法◆

本研究は過去の診療録（カルテ）等からの情報を利用します。

- 
- \* 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
  - \* 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。

#### 【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

消化器内科科 研究責任者 上野 真行

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）

（★を@に変換して使用してください）



この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明